

経営指標の概要

下水道事業

1. 経営の健全性・効率性

①収益的収支比率 (%)

$$\frac{\text{総収益}}{\text{（総費用＋地方債償還金）}} \times 100$$

料金収入や一般会計からの繰入金等の総収益で、総費用に地方債償還金を加えた費用をどの程度賄えているかを表わします。

②累積欠損金比率 該当なし

③流動比率 (%) 該当なし

④企業債残高対事業規模比率 (%)

$$\frac{\text{（地方債現在高合計－一般会計負担額）}}{\text{（営業収益－受託工事収益－雨水処理負担金）}} \times 100$$

料金収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表わします。

⑤経費回収率 (%)

$$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{汚水処理費（公費負担分を除く）}} \times 100$$

使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを表わします。

⑥汚水処理原価 (円)

$$\frac{\text{汚水処理費（公費負担分を除く）}}{\text{年間有収水量}} \times 100$$

有収水量 1 m³あたりの汚水処理に要した費用であり、汚水資本費・汚水維持管理費の両方を含めた汚水処理に係るコストを表わします。

⑦施設利用率 (%)

$$\frac{\text{晴天時一日平均処理水量}}{\text{晴天時現在処理能力}} \times 100$$

施設・設備が一日に対応可能な処理能力に対する、一日平均処理水量の割合であり、施設の利用状況や適正規模を判断する指標です。

⑧水洗化率 (%)

$$\frac{\text{現在水洗便所設置済人口}}{\text{現在処理区域内人口}} \times 100$$

現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を表わします。

老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率 該当なし

②管渠老朽化率 (%) 該当なし

③管渠改善率 (%)

$$\frac{\text{改善(更新・改良・維持)管渠延長}}{\text{下水道布設延長}} \times 100$$

当該年度に更新した管渠延長の割合を表した指標で、管渠の更新ペースや状況をしめしています。